

【観察したい部位近くに MRI 対応の体内金属がある場合】

MRI 対応の体内金属のため MRI 検査が可能でも、金属周辺では必ずアーチファクトが発生します。撮影したい部位の近くに金属がある場合は、病変部位がしっかりと観察できない可能性がありますのでご理解ください。